

Xu Z, MacIntosh AJJ (2022) Sociability and Disease Transmission: Evolutionary Ecology and Parasite Transmission in Japanese Macaques. The 69th Annual Meeting of the Ecological Society of Japan, Fukuoka (Online)
Keuk, K, Majewski K, and MacIntosh AJJ (2022) Studying the Effect of a Raccoon Dog Invasion of Yakushima on the Ecology of Disease, from the Ground Up (to the Sky): A Pilot Study. The 17th International Symposium on Primatology and Wildlife Science, Kyoto (Hybrid poster)
徳山奈帆子 (2021) 野生ボノボにおける集団の出会いの際の親和的・性的交渉相手の選択. 第37回日本霊長類学会.

講演/Lectures and Other Presentations

MacIntosh AJJ (2021). Vignettes from the wormy world of primates: behavioral ecology of host-parasite interactions viewed through a primate lens. University of Lausanne, Switzerland (Online)
Sarabian C (2022) On the parasite avoidance-disgust continuum: where do non-human primates fit and what can we do with it? EcoHealth Alliance, New York, United States (Online)
Sarabian C (2022) Disgust across borders: how to dissect pathogen avoidance in animals and how to use it. The University of Hong Kong, Hong Kong (Online)
富谷進 (2021/04) 陶磁論実習(哺乳類の骨格形態に関する招聘講義・実習). 愛知県立芸術大学. [Susumu Tomiya (2021/04) Ceramics Lab (guest lecture/lab on mammalian skeletal morphology), Aichi University of the Arts]
服部裕子 (2021) ヒトはなぜ音楽を必要とするか. NHK 名古屋文化センター ひとの大学 2019.
徳山奈帆子 (2021) 展示動物の福祉～野生での行動生態から考える～. 第7回動物福祉市民講座
徳山奈帆子 (2021) ヒトとボノボが共に生きるアフリカの森で考えたこと. 京大 森里海ラボ by ONLINE 2021

3.3.1 チンパンジー (林原) 寄附研究部門

<研究概要>

ヒトとチンパンジーの加齢の比較研究

藤澤道子

COVID19の感染流行のため、主にこれまで収集したデータの整理分析をおこなった。

飼育下チンパンジーとヒトの比較発達研究

川上文人

東山動植物園の飼育下チンパンジー(2021年度は COVID19 感染防止のため、録画データの分析のみ)とヒト乳幼児を対象とした行動観察をおこない、乳幼児の社会的発達や母子関係の発達を調査している。

<研究業績>

原著論文

Ishida A, Isotani A, Fujisawa M, Del Saz EG, Okumiya K, Kimura Y, Manabe I, Rantetampang AL, Ohya Y, Matsubayashi K (2021). Effects of low-salt and high-potassium diet on arterial stiffness and left ventricular function in indigenaou Papuans. *Journal of American Heart Association*, 10(24): e021789. Doi:10.1161/JAHA.121.021789.

Iwasaki M, Kimura Y, Yamaga T, Yamamoto N, Ishikawa M, Wada T, Sakamoto R, Ishimoto Y, Fujisawa M, Okumiya K, Otsuka K, Matsubayashi M, Ogawa H (2021). A population-based cross-sectional study of the association between periodontitis and arterial stiffness among the older Japanese population. *Journal of Periodontal Research*, 56: 423-431. Doi:10.1111/jre.12835.

原著論文, 著書以外の執筆

川上文人 (2021) 書評 黒鳥英俊 著『恋するサル 類人猿の社会で愛情について考えた』. 霊長類研究 37: 130-131

3.3.2 ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)寄附研究部門

<研究概要>

チンパンジーの映像記録のデータベース化と経時的記録に基づくチンパンジーの加齢プロセスの解明

中村美穂

野生および飼育下のチンパンジーの行動を 1989 年から記録した動画のビジュアルアーカイブ化を継続した。現在は老齢となっている個体の若年時からの行動や肢体の変化を抽出するとともに、「個体差」に着目したチンパンジーの「一生」を視覚的に描きだす試みを進めた。

チンパンジーの発達過程と母子関係に関する観察および実験記録映像の分析とアーカイブ化

中村美穂

2000 年から霊長類研究所で行われてきたチンパンジーの 3 母子参与観察の記録映像を分析し、将来の研究において比較参照するための映像アーカイブを制作した。また、研究成果を一般に還元するための Web 公開の準備を行なった。

なお、本部門の活動の概要については下記 URL を参照のこと。兼任教員の成果等はそれぞれの所属分野を参照されたい。

本部門の Web サイト : https://www.pri.kyoto-u.ac.jp/sections/wildlife_science/

<アウトリーチ活動>

中村美穂. (2021) Wildlife Action2 (タイガーモブ・認定 NPO 法人 UAPACAA 国際保全パートナーズ共催のオンラインプログラム) において、自然環境保護を訴えるメッセージ動画を参加者とともに作成するアクションを実践した。